



法人よつば たより

No.24

発行：社会福祉法人よつば ☎04-7199-7931
 発行日：2023年 9月 1日
 ホームページ：http://www.kashiwa-yotsuba.jp

☆ご挨拶

・ひきこもりの家族と支援者のための講演会を、齋藤環先生を迎えて開きました。

法人よつばでは、地域社会への貢献として、「引きこもりの方やご家族を支援する」啓発講演と訪問をしていきますが、今回はひきこもりの方やご家族を長い間サポートし続けておられる、筑波大学教授・齋藤環先生を迎えて、講演会を開催しました。よつば家族会も共催をしました。台風通過後でしたが、百余名の参加がありました。

・九月二十五・二十六日に、法人内部研修を実施します。

年二回開催している今回のテーマは、「困難な方への理解と対応」です。Zoom講演の形を取りますが、講演の後にグループワークも行います。事業を行いながらの開催ですので、二日に分けての開催としました。

☆障害者の体験や思い

・柏市在住 AMさん



私の両親は続けて亡くなりました。その時から二年ほど自宅で独

り暮らしをしていましたが、自活する経験が無かったため、行き詰りました。見かねた兄弟や親せきが行政に相談し、ヘルパーの方を派遣してくれましたが、それでもうまくいかず、家を処分してグループホームに入ることになりました。今、兄弟が生活費や支払いのお金の管理をしてくれています。

本日は嫌でしたが、それ以外に道はありませんでした。入院を希望しましたが、「病院はホテルではない」と断られました。入院しなければならぬほどに具合が悪くはありませんでしたので、その通りだと思いました。兄弟や周囲が考えた末に、結局のところグループホームかアパートということになり、アパートは同じことの繰り返しというので、グループホームの見学・体験を経て、柏市に入居しました。グループホームでは、時々もめ事があります。イライラすることもありません。しかし、職員の方が相談に乗ってくれますし、食事や風呂の準備を自分でしなくても良いのは楽です。

今では、グループホームに慣れています。昼間は病院のデイケアに通っています。休みの日は、ふらっと

出かけたり、好きな漫画を読んでいます。以前から人間関係は苦手でしたので、あまり関わらない生き方をしています。寂しいこともありませんが、人間関係の煩わしさよりもまだましです。「マイペース」で過ごすことが昔からの願いでした。本音としては、困ったときだけは、助けてもらいたいですけど。職員や周りの人は、「友達を作れ」と言いますが、私は「軽い付き合いでいい」と、思っています。これまで、家族からも理解されず、友達からも悪口を言われてきたので、いつ裏切られるか分からないし、人の腹は読めませんので、自分の気持ちを大切にしておごせたらと願っています。正直、一人でいるほうが落ち着きます。

☆家族の思いと願い

・流山市在住 ANさん



私の娘は、四十代の半ばです。病名は統合失調症ですが、ボイダーの知的課題も持っている先生から聞いています。三十代初めに発症しました。それまでは非常勤ではあっても、会社勤めもしていました。長く務めることが出来ず、会社の方からの話で、受診す

ることになりました。独り言を話したり、イライラして仕事に集中できいないということでした。精神科に受診することに戸惑いもありましたが、確かに様子がおかしかったため、受診したところ統合失調症の疑いがあるとのこと、通院をしながら、仕事を続けさせてもらいました。今思うと、会社の方は理解があったと思います。それでも、仕事が続けられず辞めることにしました。

仕事を辞めたため、障害者年金の手続きを先生がしてくださいました。外出を避けるようになり、家にいることが増えたために、通販で買い物することが多くなりました。ところが、衝動的に買い物をするようになって、障害者年金の全部を使ってしまう、挙句に私たちにまでお金を要求するようになりました。買い物をした品物は、使わずに放置されていますし、同じものを買ってしまうこともあります。携帯を取りあげられることもできず、カードローン返済のことがあったため、知り合いの勧めで、松戸市の法テラスに相談をしたこともあります。時間を持って余していることも一因だと考えて、

車で一緒に出掛けたり、美術館などに行ったり、チラシを見たことがきっかけで在宅の内職と一緒にするようになりました。内職で頂くお金は多くはありませんが、時間つぶしになることと、娘と話が出来ることと、生活のリズムが出来たことは良かったと思います。時々仕事の内容も変わるため、気分転換にもなります。

心配なのは、これからの事です。一人で暮らす可能性が高いため、簡単な料理や、掃除・洗濯も自分で出来るように勧めていますし、大体できています。ただ、お金の管理が苦手なため、社会福祉協議会の日常生活支援事業の制度を使うことを勧められています。今現在は、娘は嫌がっていますが、私たちがもつと年を取ったときは、必要だと本人に話しています。昼間の福祉サービスを利用していないため、話し相手として、病院にお願いして、訪問看護の方をお願いしました。外部の方との繋がりは、その方だけです。今の時点では、相談相手のことが一番気がかりです。

☆発達障害者の「家族会」の講



演会の案内

今年の三月に、我孫子市の発達障害者支援センター(CAS)の田熊立さんを迎えて、「発達障害とは？」というテーマで講演会を開きました。今回も田熊さんを講師に迎えて、十月七日午後一時から、流山市おおたかの森センターのホールで、「発達障害とは・パートII」と題する続編を開きます。田熊さんは、発達障害の当事者や家族と日々接しておられる方ですので、具体的な内容で分かりやすく、発達障害について説明し、質問を受けてくださいます。どうぞお出かけください。予約は不要です。

※定期的集まりの紹介

- ・家族会 毎月第二土曜日朝十時から、初石公民館にて
- ・当事者会 毎月第四日曜日午後一時から、初石公民館にて
- ・問い合わせ 勝本まで
090-3696-1589

☆法人の事業案内

・就労支援B型青い鳥の「かるのこショップ」柏保健所(ウエルネス柏)内にある、喫茶と軽食のお店です。利用者の方が、接客や調理をして、徐々に自信を取り戻し、社

会に戻って行かれるのに最適です。問い合わせは、青い鳥〇四・七一九九・八一一九です。

☆先人の言葉

平野啓一郎氏の言葉。 たった一つの、本当の自分など存在しない。裏返しているならば、対人関係ごとに見せる複数の顔が、すべて本当の自分である。

信念についてのワトソンの言葉。人は因果関係で物事をとらえやすい傾向がある。自分の持っている信念に対する確証・情報だけを利用し、反証的な証拠に対しては批判的・懐疑的・無視となる。信念が変わるためには、一つに、大量の反証があること、二つに、良く統制された実験データがあること、三つに、生き生きとした具体的に直接的な体験が必要である。

柏部会の案内

日時 九月二十三日(土)

午後一時から

会場 パレット柏C会議室

流山部会の案内

日時 九月二十二日(金)

午前10時から

会場 初石公民館 会議室

